



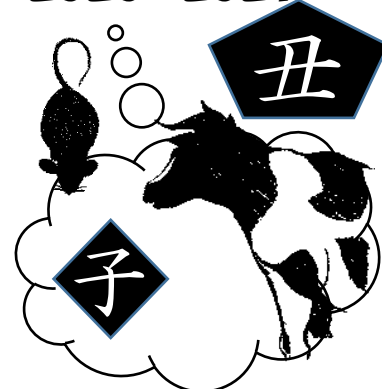
新年の目標を立て、希望を語る冬休みに 健康で良い年を迎えてください！

2学期の終業式を迎えました。令和2年も残すところあと6日で終わり、新しい年を迎えます。学校便りの第10号で書いたように、12月、今年の締めくくりとしての振り返りはできたでしょうか。

2学期は、春から延期して開催された体育祭、参加人数を縮小した新人大会、感染対策により形態を変えた合唱祭などの大きな行事をはじめ、中間、期末テスト、3者面談、学年行事への取組など、日々、多くのことがありました。

学校生活の中で、皆で協力したり切磋琢磨したりすることは、かけがえのない貴重な財産となります。自分だけでなく、他者との関わりでつくられる絆をこれからも大切にしていきたいでしょう。そして今後も日常生活において、たくさんの自分たちの良さが発揮できるとよいですね。そこで、この機会にもう一步考えを深めてほしいと思います。

2020⇒2021



Merry Christmas! & Happy New Year!

皆と一緒に過ごす学校生活は、いわば集団の中で自分がどう生きるかにつながります。しかし、時にはいさかい（対立？けんか？）などがあつたかもしれません。ある名言に、「相手に意見するときは、だいたいその伝え方が気に入らないときである」（ニーチェ）というのがあります。要は、自分が文句を言うのは相手の言い方が悪いからだ、ということでしょうか。人は話の内容よりも、感情が優先される方が強いのかもかもしれません。

では、これを別の視点から見て「相手が意見してくるときは、だいたい自分の伝え方が悪いからである」と捉えてはどうでしょうか。自分と相手を逆に考えてみるのです。

友達と対立したりけんかしたりした時、だいたい相手のせいにしていませんか？もちろん原因はさまざまですが、自分の伝え方さえうまくできていれば対立せずにお互い気持ちよく納得し、解決できる。即ち、よりよい関係をつくることになる。

このように、相手ではなく、「自分に原因があるのではないか？」と捉え、振り返ることができれば、自分自身の幅も広がり、より感性が磨かれていくように思います。

そのような意味でも、この一年の自分自身の姿を見つめ、他者との関係をさらによく築いていこうという気持ちを持って来年につなげていけるとよいですね。

明日から冬休みになります。今年の冬休みは例年よりも少し短いですが、年の変わり目という大事な節目です。日本には、昔から「一年の計は元旦にあり」という言葉があり、新しい年がよりよくなるように願いを込めて目標を立てるという習慣があります。

ぜひ、この正月も「新しい自分」に向けて、具体的で実現可能な目標を立て、一年の始まりにふさわしい希望の持てる節目にしていきましょう。

最後に、冬休み中も「健康で安全な生活」を心がけ、インフルエンザや新型コロナウイルスの感染予防に努めるとともに、交通事故や怪我などなく過ごしてください。3学期に元気な姿で皆さんに会えることを期待しています。どうぞ良い年を。